

「チャレンジ25キャンペーンへの参加について」

「チーム・マイナス6%」から「チャレンジ25」へ
湘南ゼミナールは環境問題への取り組みを進めています。

2005年2月16日に発効された「京都議定書※1」に基づく温室効果ガス排出量6%の削減を実現するために推進されてきた「チーム・マイナス6%」キャンペーンは、2009年9月、鳩山内閣総理大臣がニューヨークの国連気候変動サミットにおいて、我が国の目標として、温室効果ガス排出量を2020年までに1990年比で25%削減することを表明されたことにより、「チャレンジ25キャンペーン」として生まれ変わり2010年1月14日より、新たに展開されております。

湘南ゼミナールでも「チャレンジ25」の趣旨に賛同し、昨年に引き続き具体的なアクションプランを行ってまいります。湘南ゼミナールの企業理念「人に学び、人を育て、社会とともに成長する」に基づき、全社員が一丸となって行動し、地球温暖化防止への関わりの中から子供たちにとっての希望ある未来を創り上げる一助になればと存じます。

今後、下記の通り具体的なアクションプランを実行して参りますが、保護者の皆様方におかれましても是非ご理解・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。尚、「チャレンジ25」に関するお問い合わせは、湘南ゼミナール 本部（広告宣伝部：045-664-4627）宛にお願い致します。

株式会社湘南ゼミナール
代表取締役 木島文義

記

湘南ゼミナール「チャレンジ25」アクションプラン

- 教室内の過度の冷房使用を控えます。※2
- 教室内の照明・電気器具をこまめにON・OFFします。
- 社員のマイカー通勤を自粛します。※3

これに伴い、6月1日～9月30日の間「クールビズ」を行ない、職員のネクタイ着用を任意とさせていただきます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

※1…1992年の地球環境サミットで、日本を含む188カ国で気候変動枠組条約が締結されました。これは大気中の温室効果ガス（CO2等）の増大による地球の温暖化を抑止することを目的としたものです。この条約の目的を達成するために、COP3（第3回締約国会議）で採択された議定書が京都議定書です。ここでは先進諸国に対して、2008年～2012年の間に、1990年比で温室効果ガスの削減が数値として義務づけられました（日本は6%）。日本を含む140カ国と欧州共同体が締結し、2005年2月16日、京都議定書は発効しました。

※2…「チャレンジ25」のアクションプランでは28℃が冷房設定推奨温度とされていますが、各教室の構造上の問題により、チャレンジ25事務局から「過度の冷房使用を控える」という趣旨での参加許可をいただいております。また冷房の温度設定を高くしても、エアコンからの風が直接当たる場合がありますので、なるべく上に羽織るものをご用意ください。

※3…公共機関による通勤が地理的に困難な地域はこの限りではありません。

以上